

JR側の姿勢 国交相が批判

参院本会議

参院本会議が二十七日午前開かれ、尼崎JR脱線事故で、運転士と車掌が事故直前のオーバーランを過少報告していたことについて、北側一雄国交相は「JR西日本の発表内容が翌日に大幅に変更されるなど、信頼性が

問われるようなことがあったことは非常に残念で遺憾だ。厳しく指導していく」とJR側の姿勢をあらためて批判した。

また、事故現場で大破したステンレス製の車体について「列車の車体の強度は、踏切での自動車との衝突を考慮している。今回のようなマンションに衝突する特殊な状況は考慮していなかった」とし、「事故原因も踏まえながら、車体の強度や構造のあり方を検討したい」と、車体の安全基準を見直す必要性にも言及した。

末松信介議員(自民)、辻泰弘議員(民主)らの質問に答えた。